

令和元年度 新潟市の地域福祉に関するアンケート

1 調査目的

地域における市民の福祉面での実態・要望を把握し、傾向やニーズを分析することにより、地域福祉計画策定の資料を得ること

2 調査概要

- (1) 調査地域 : 新潟市全域
- (2) 調査対象 : 満 20 歳以上の男女個人
- (3) 標本数 : 4,000 人 有効回答数 (率) 2,090 人 (52.2%)
- (4) 抽出方法 : 住民基本台帳より無作為抽出
- (5) 調査方法 : 郵送法 (調査票の配布・回収とも) による自記式アンケート調査
- (6) 調査期間 : 令和元年 8 月 5 日～8 月 20 日
- (7) 回答者の属性

【区別 世帯構成別】

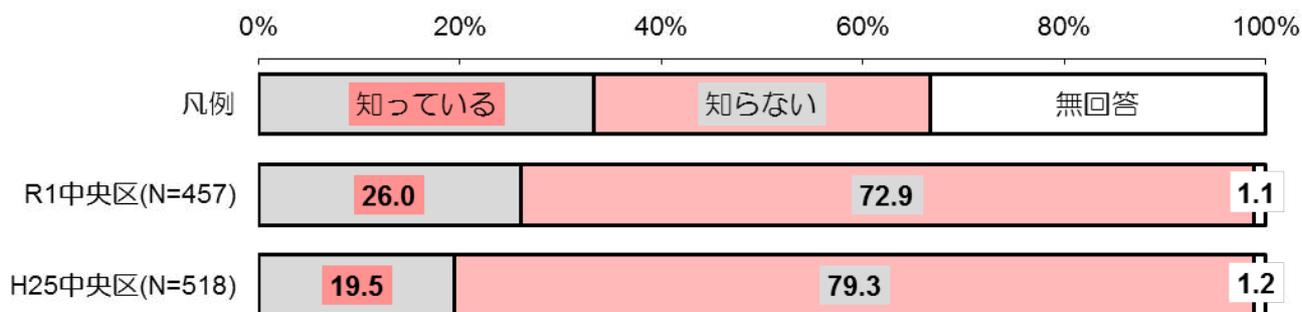
居住区	全市	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	無回答
合計	2,090 人	194 人	330 人	457 人	195 人	209 人	101 人	428 人	167 人	9 人
単身	238	13	39	82	16	15	4	61	7	1
夫婦	494	41	84	114	44	52	16	112	31	0
2 世代	1,035	105	176	210	100	111	49	203	81	0
3 世代	258	27	26	38	26	30	27	41	43	0
その他	52	7	2	12	9	1	5	11	5	0
無回答	13	1	3	1	0	0	0	0	0	8

【中央区 性別・年齢別】

年齢層	20～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60～ 64 歳	65～ 69 歳	70～ 74 歳	75 歳 以上	無回答	合計
合計	36 人	50 人	83 人	75 人	34 人	39 人	46 人	88 人	6 人	457 人
男性	13	20	34	28	14	16	22	45	3	195
女性	23	30	49	47	20	23	24	43	1	260
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2

3 調査結果 及び 前回調査（平成25年度）との比較（中央区分を抜粋）

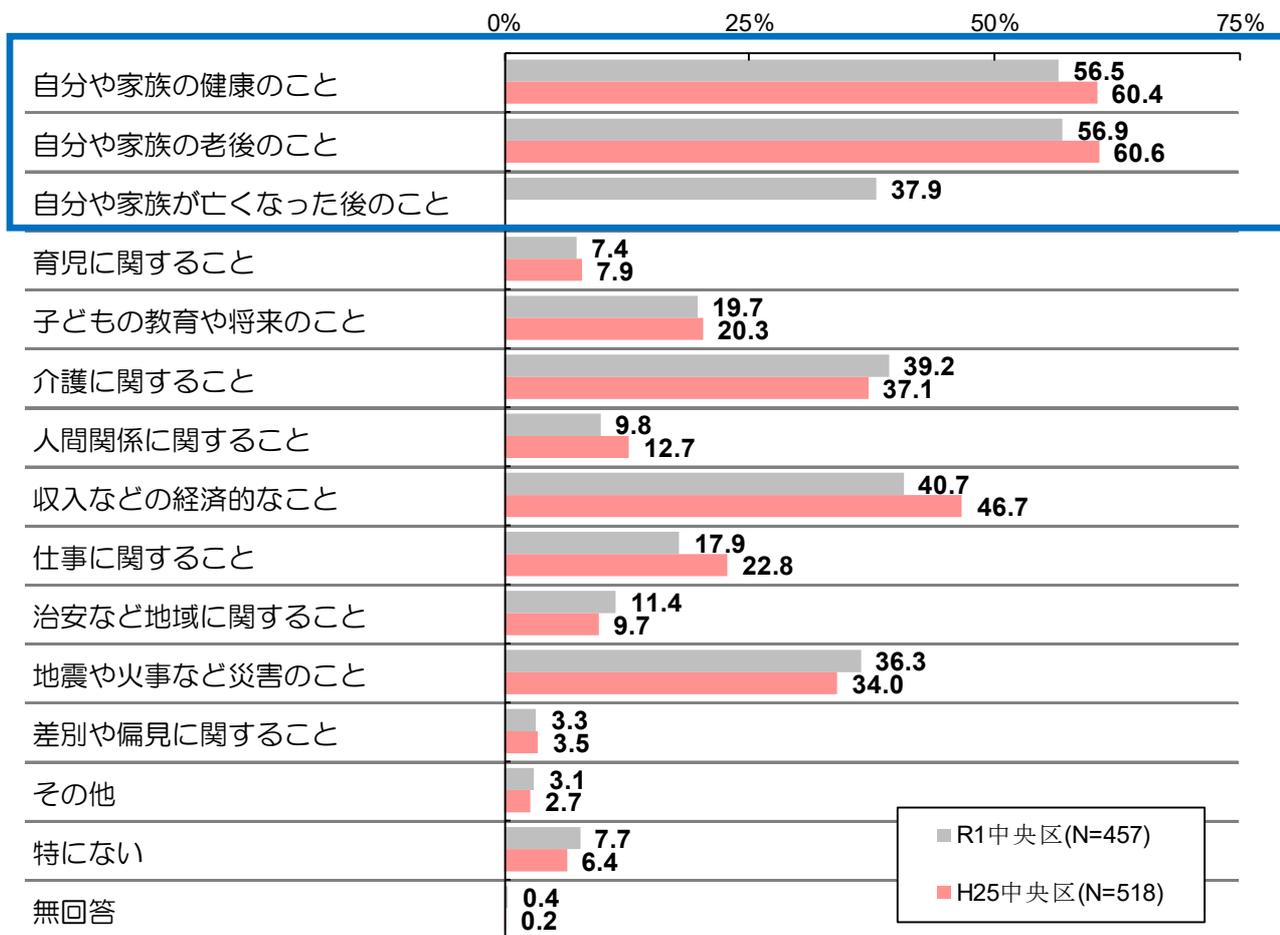
問7 あなたの区に地域福祉計画・地域福祉活動計画があることを知っていますか。
 (〇は1つだけ)



【検証】

- 両計画の認識度は上がっている。市全体よりも上がり幅が大きい
 (市全体 23.1 → 25.8% 2.7%増)
 (中央区 19.5 → 26.0% 6.5%増)

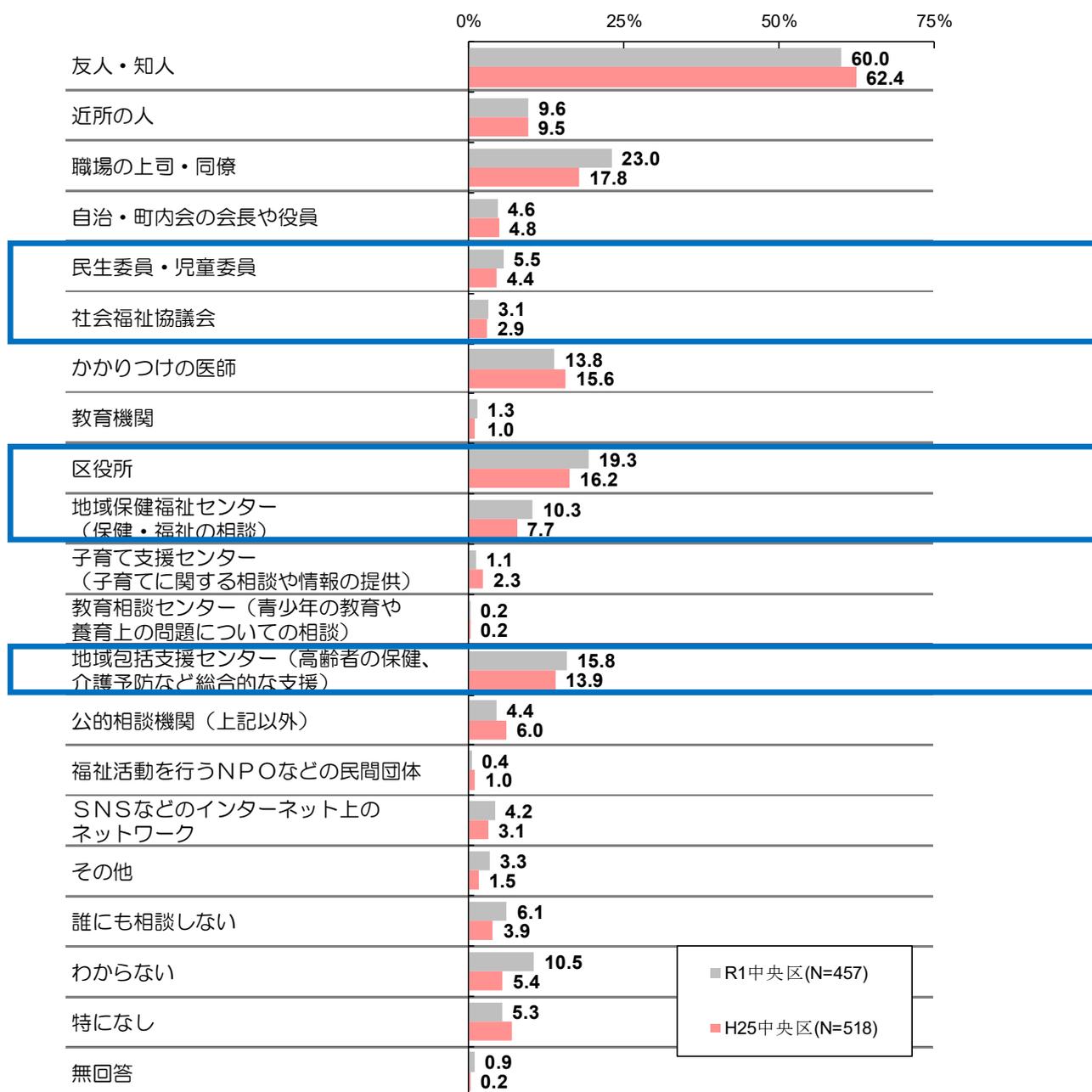
問8 あなたは、日頃の生活の中で悩みや不安を感じることはありますか。(〇はいくつでも)



【検証】

- ・「老後」(56.9%), 「健康」(56.5%) が過半数を超える
- ・新項目「自分や家族が亡くなった後のこと」が全体の5番め(37.9%)

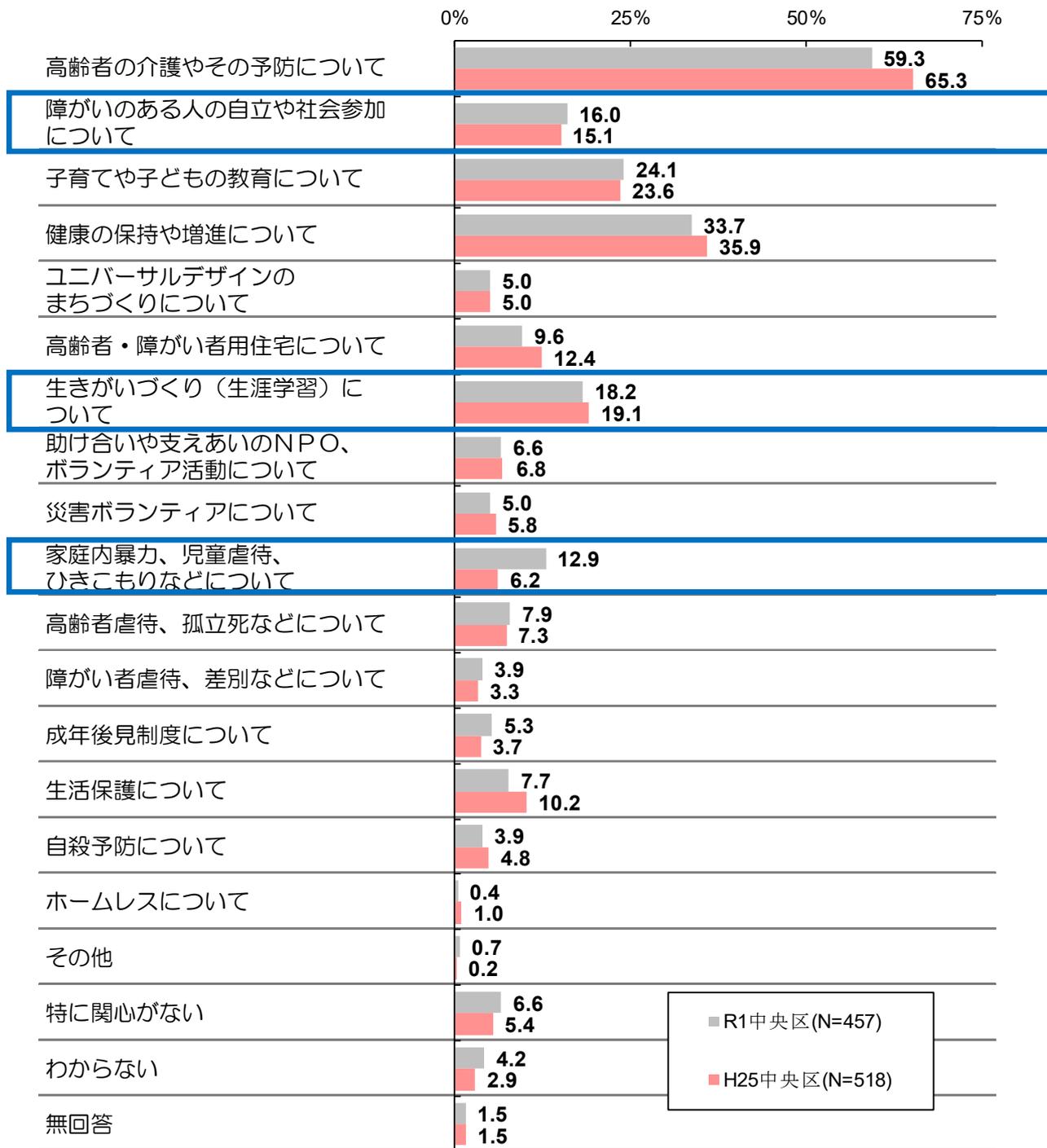
問9 あなたは、普段の暮らしで何か困ったことがおきた場合、「ご家族やご親戚以外」どなたに相談することになると思いますか。(〇は3つまで)



【検証】

- 上位3位(「友人・知人」,「職場の上司・同僚」,「区役所」)は変動なし
- 「区役所」,「地域包括支援センター」,「地域保健福祉センター」,「民生委員・児童委員」はそれぞれ1~2割増,「社会福祉協議会」も増
(市全体では「地域保健福祉センター」「民生委員・児童委員」は減)

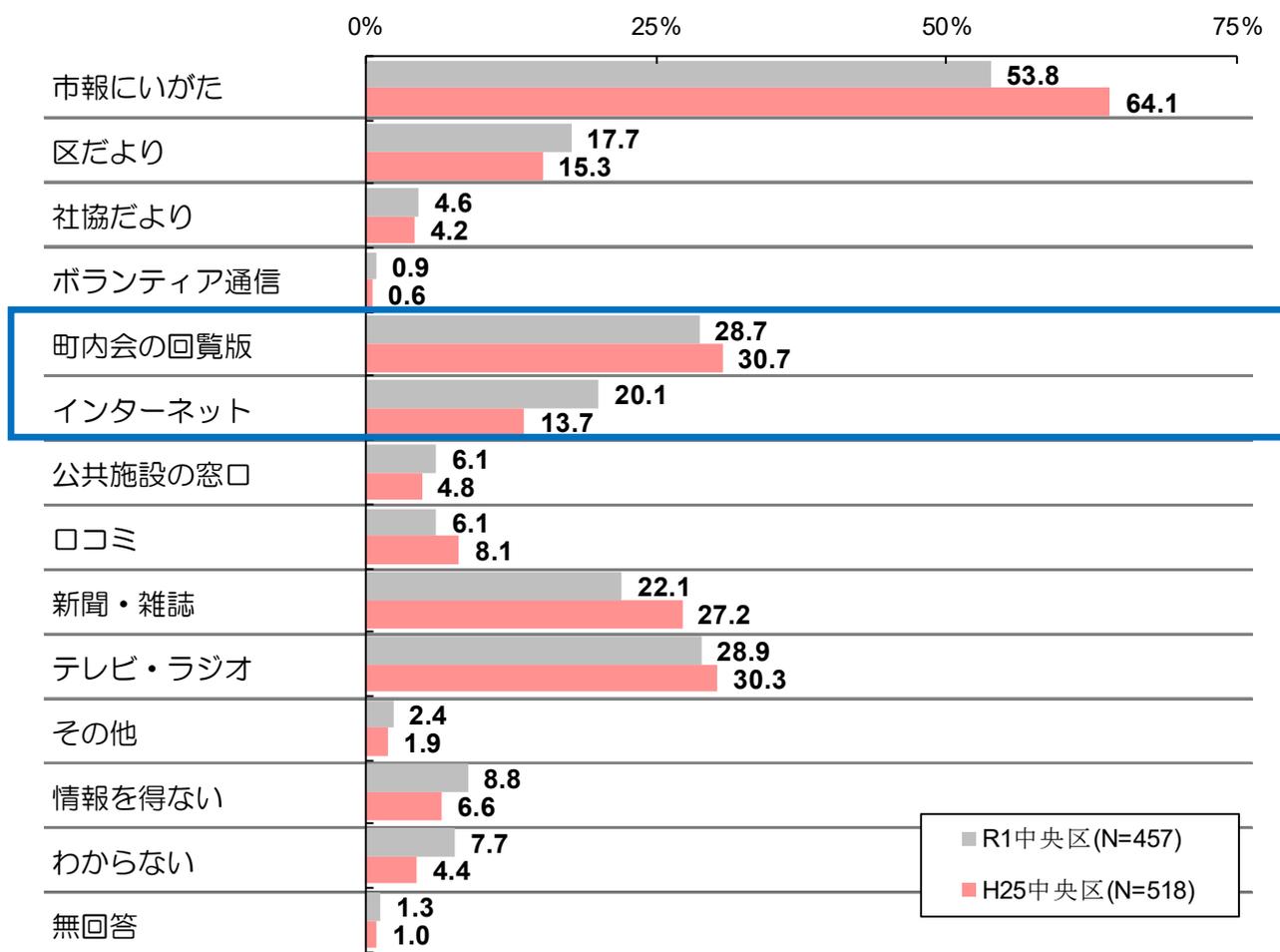
問 13 福祉について関心を持っていることは、次のどれですか（〇は3つまで）



【検証】

- 上位3位（「介護」、「健康」、「子育て」）は変動なし
- 「家庭内暴力、児童虐待、ひきこもりなど」への関心は倍増（6.2 → 12.9%）
- 「障がいのある人の自立や社会参加」、「生涯学習」は全市よりやや関心が高い

問 14 あなたは、ボランティアや保健・福祉に関する地域活動の情報をどのような手段で得ることが多いですか。(〇は3つまで)



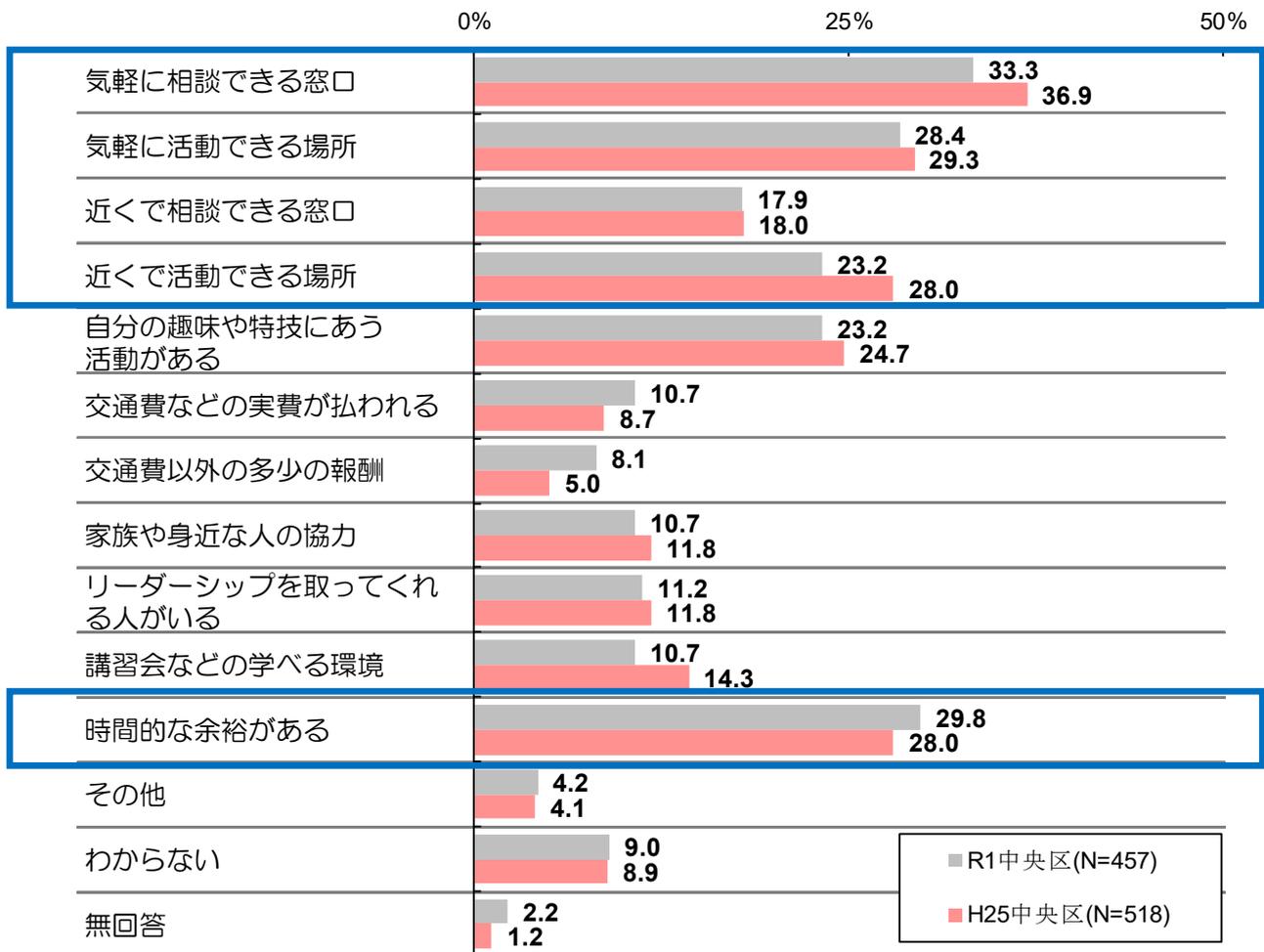
【検証】

- 1位「市報」(64.1 → 53.8%)をはじめ、ほとんどの項目が割合減
- 「インターネット」(13.7 → 20.1%)、「区だより」(15.3 → 17.7%)、「公共施設の窓口」(4.8 → 6.1%)は増
- 「インターネット」の割合は、市全体(9.4% → 14.6%)と比べても高い
- 年齢層により差異が大きい項目がある

例1)「回覧版」: 60歳以上は30%以上, 60歳未満は10~20%

例2)「インターネット」: 60歳以上は10%未満, 60歳未満は25~46%
 20~29歳…46.2%, 30~39歳…30.0%, 40~49歳…26.5%
 50~59歳…25.0% 60~64歳…7.1%, 65~69歳…6.3%

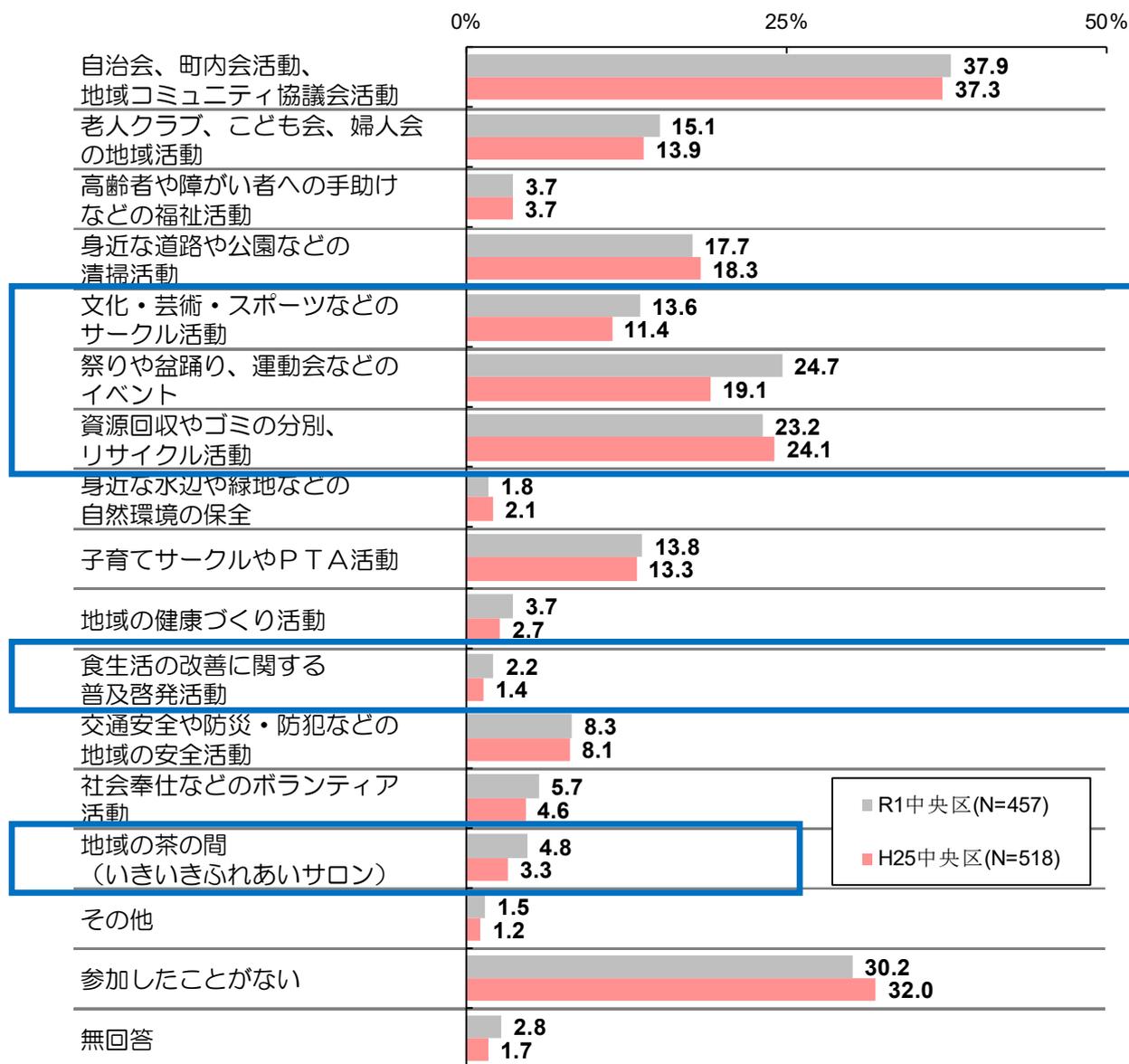
問 15 あなたは、ボランティアや保健・福祉に関する地域活動に積極的に参加するために何が必要だと考えますか。(〇は3つまで)



【検証】

- 「窓口」、「場所」に係るニーズが継続して高い（4項目）
- 「時間的な余裕がある」が微増して2位に（全市と同傾向）

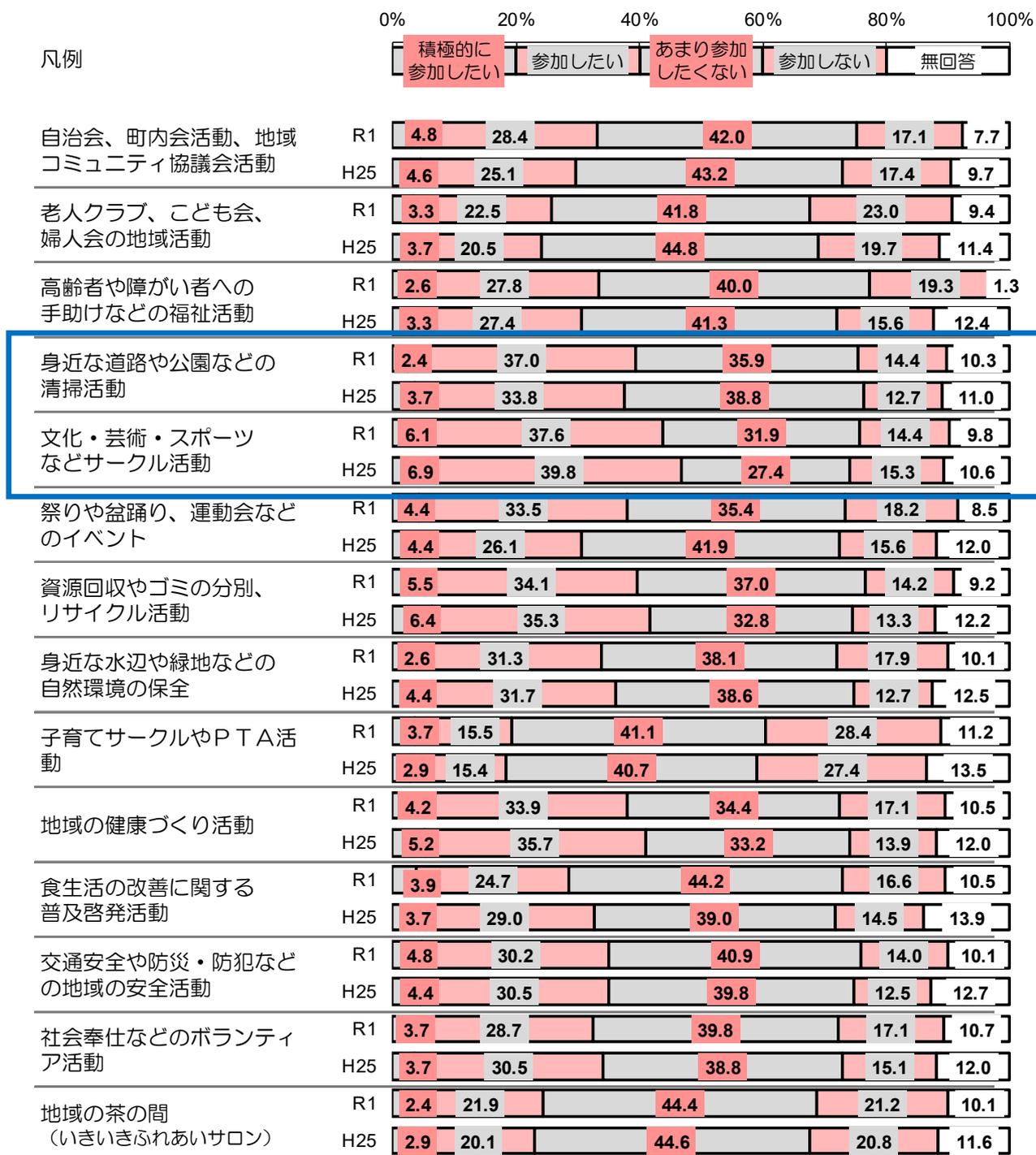
問 17 あなたは、地域で行われている以下の活動に参加している、または参加したことがありますか。参加している・参加したことがある活動に○をつけてください。(○はいくつでも)



【検証】

- 15項目中 11項目で増、特にイベント系への参加増
- 「参加したことがない」の割合は高いままも減(32.0 → 30.2%)
- 増減の傾向は全市と同じだが、全体的に参加割合が低い
市全体より高い項目
「リサイクル活動」(市 21.4%)、「サークル活動」(市 12.2%)
「地域の茶の間」(市 4.6%)、「食推」(市 1.9%)、「不参加」(市 25.0%)

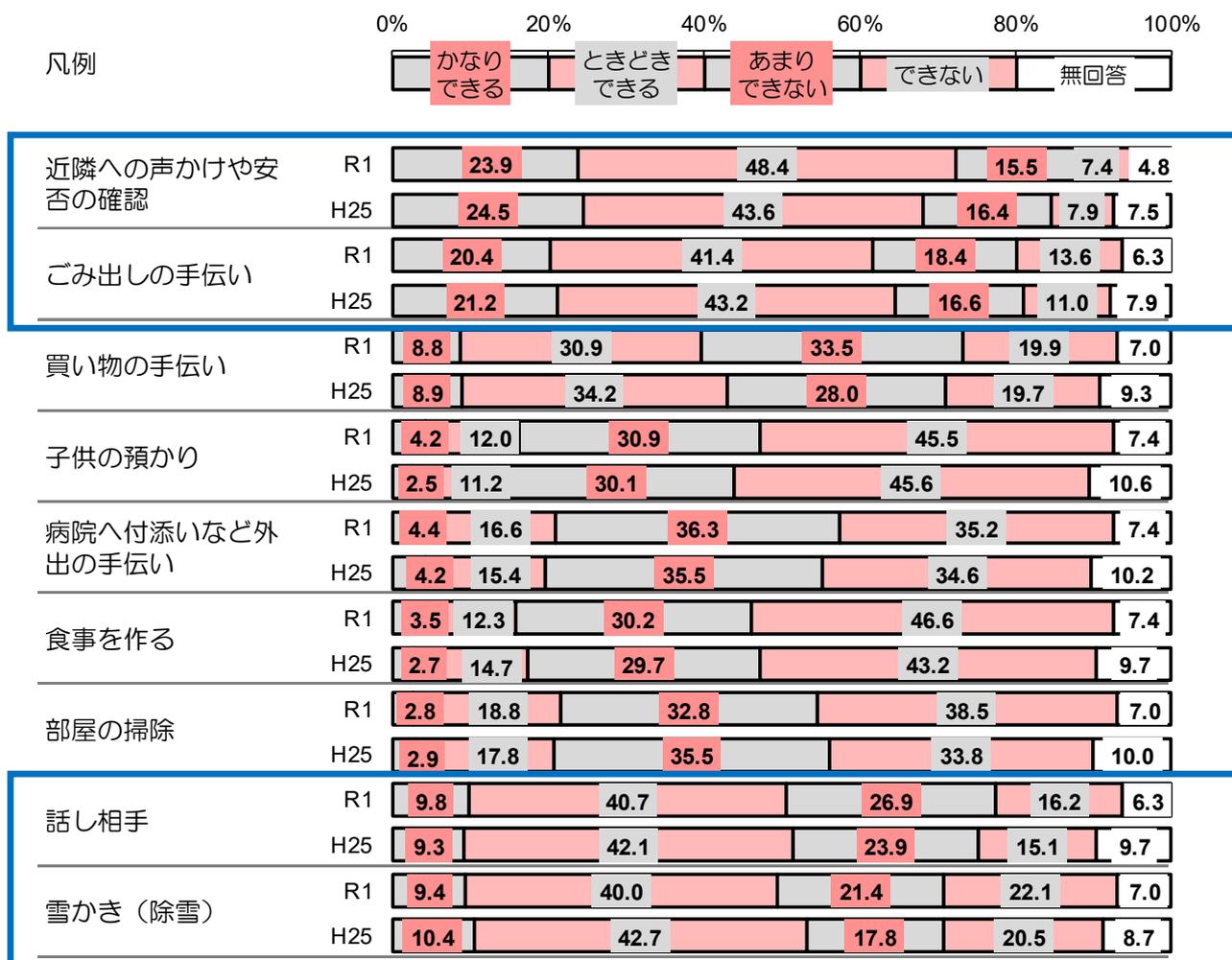
問18 あなたは、地域で行われている以下の活動について機会があれば参加したいですか。それぞれの項目ごとに番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)



【検証】

- 「積極的に参加したい」「参加したい」は増、14項目中12項目で「あまり参加したくない」が最多（例外…「清掃活動」「サークル活動」、全市と同傾向）

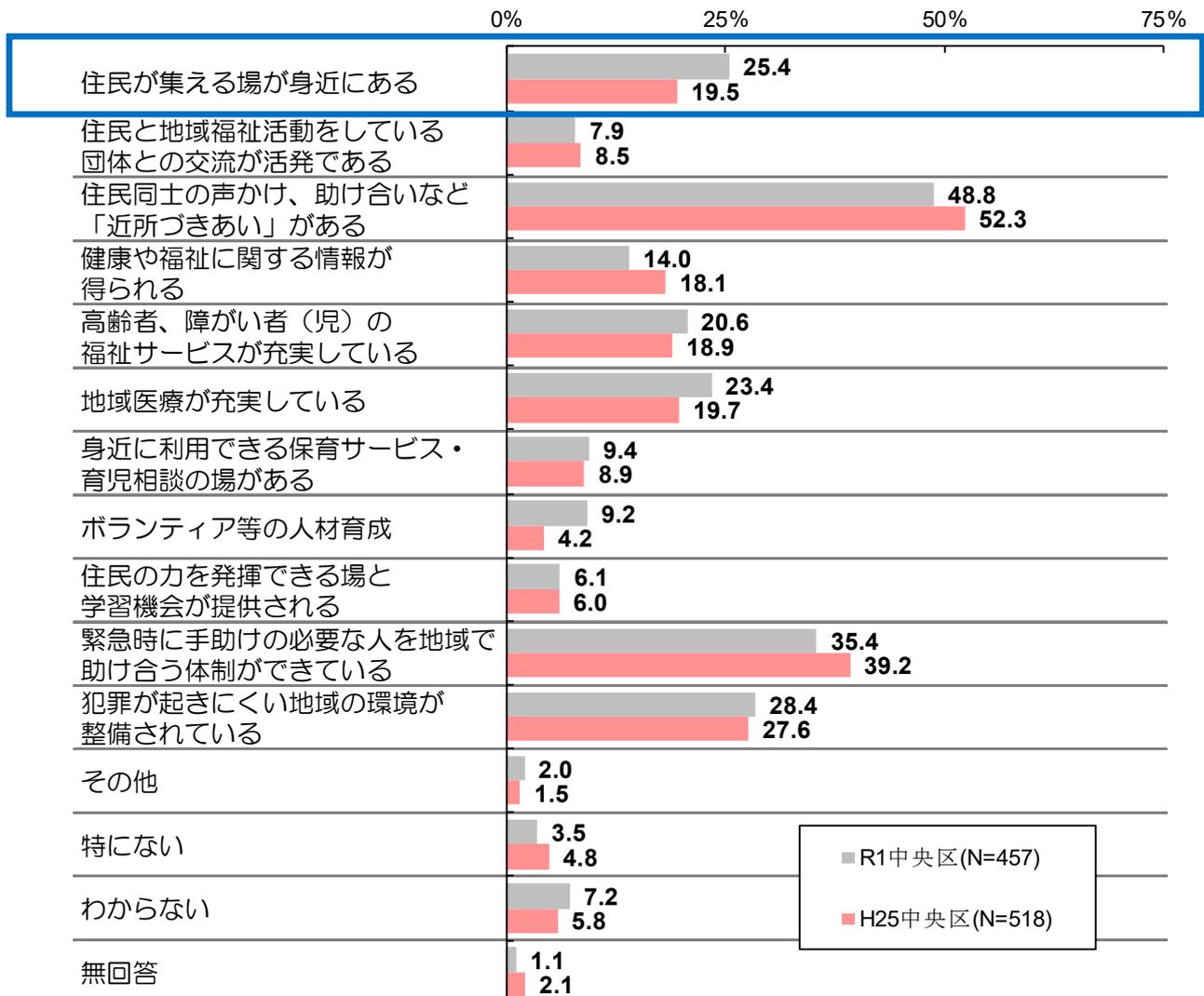
問20 あなたは、ご近所で困っている人がいた場合に、「頼まれたら」できることはありますか。それぞれの項目ごとに番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。



【検証】

- 「近所への声かけや安否の確認」、「ごみ出しの手伝い」、「話し相手」、「雪かき」で『できる』が過半数を超えている
- 9項目中7項目で、『かなりできる』の割合が全市より高い
(その他2項目は「食事を作る」3.5%で同率、「部屋の掃除」3.3%)
- 9項目中5項目で、『かなりできる』の割合が8区中で1番高い
(4項目は「病院へのつきそい」「部屋の掃除」「話し相手」「雪かき」)

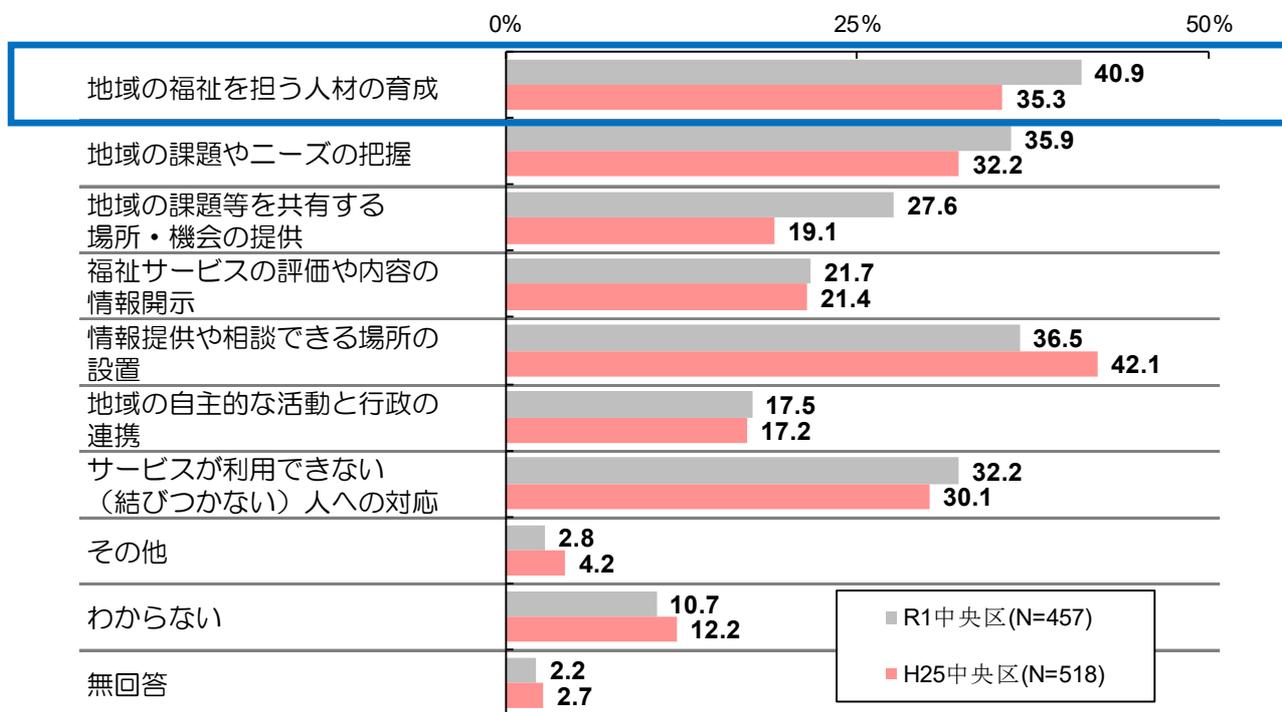
問21 あなたの住む地域を、より住みやすくするために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



【検証】

- 上位3位(「近所づきあい」、「助け合う体制」、「地域環境整備」)は変動なし
- 「住民が集える場所がある」が増
- 全体的に年齢層による大きな差異はない
 - 例外1) 「地域環境の整備」70歳未満…24~54%, 70歳以上…10%
 - 例外2) 「育児相談等の場」30~49歳…20%以上, その他…10%未満

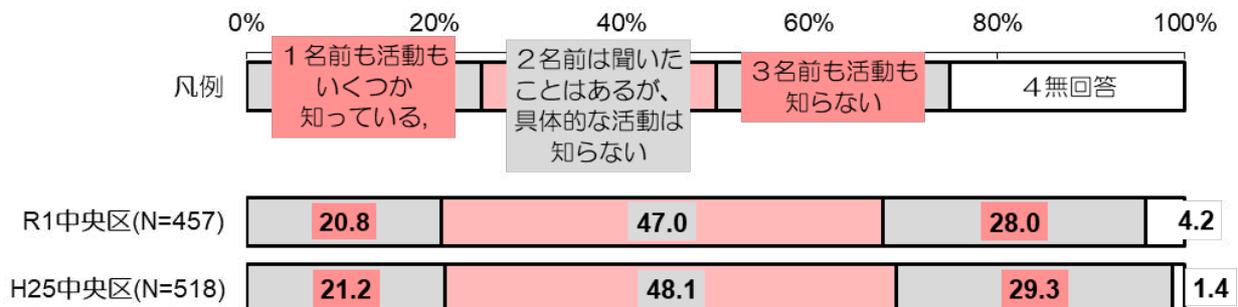
問23 あなたは、地域の福祉を推進するために新潟市はどのようなことに力を入れるべきと思いますか。(〇はいくつでも)



【検証】

- 1位が「情報提供や相談できる場所の設置」(42.1% → 36.5%) から「地域の福祉を担う人材の育成」(35.3% → 40.9%) にと入れ替わり
- 「わからない」が減(12.2 → 10.7%)
- 「情報提供や相談できる場所の設置」, 「サービスが利用できない人への対応」の2項目が, 8区で1番高い

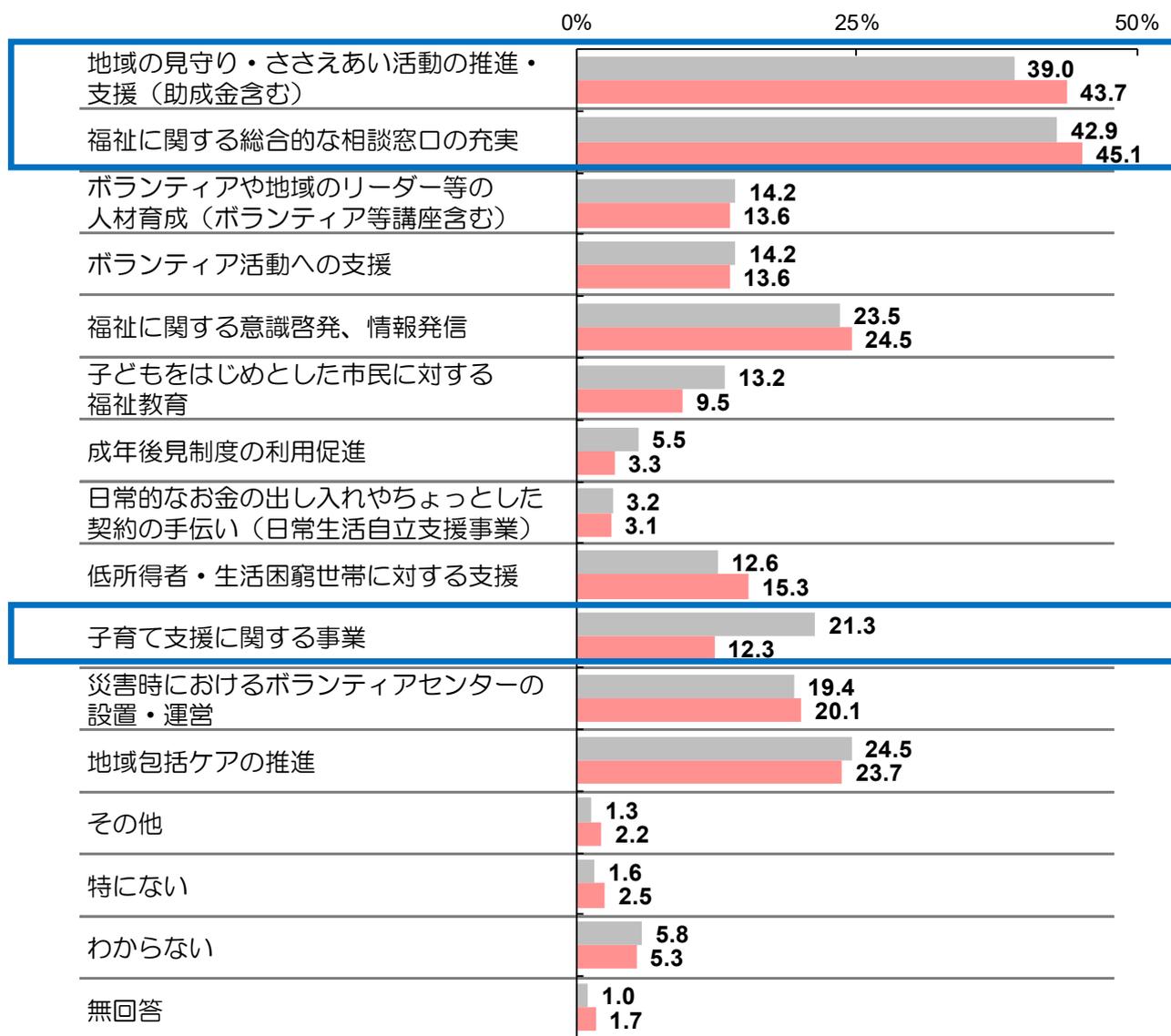
問 24 あなたは、地域の福祉推進を図るためにいろいろな活動を行なっている
新潟市社会福祉協議会という組織をご存知ですか（〇は1つだけ）



【検証】

- 認知度は年齢層が上がるにつれ増加する傾向
- 40歳未満の社協の認知度は約52%

問24-1 社会福祉協議会を「1または2」と答えた方（68.2%）に伺います。新潟市社会福祉協議会に期待することは、次のどれですか。（〇は3つまで）



【検証】

- 「地域の見守り・ささえあい活動の推進・支援」, 「福祉に関する総合的な相談窓口の充実」の割合が約40%
- 「子育て支援に関する事業」の割合が市全体より高い（17.3%）